

## 2 個人研究費による研究一覧

### デザイン学部

教員名	研究課題
原 田 昭	・札幌市立大学外部連携研究環境構築のための研究
吉 田 恵 介	・地域景観資源評価手法の開発と景観デザイン計画
武 邑 光 裕	・札幌市地下歩行空間におけるCGMコンテンツ活用を基盤とする創造都市さっぽろ施策及び都市ブランド形成の研究
石 崎 友 紀	・道具学の探究、地域様式のデザイン製品（プロダクト、クラフト、福祉機器などの造形デザイン）造形教育、ピークル・リベリーデザイン
上 遠 野 敏	・現代美術創作研究 ・同時代の美術研究 ・日本の美意識の研究
齋 藤 利 明	・オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
酒 井 正 幸	・ユニバーサルデザイン研究 ・環境教育フィールドとしての芸森キャンパスの活用のための基礎研究 ・動物園のランドデザイン研究
城 間 祥 之	・3D CAD によるRapid Prototyping 向き形状モデリングに関する研究
杉 哲 夫	・プロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発 ・デザイナーの職能資格認証研究
中 原 宏	・市街地の形態と構造に関する研究
羽 深 久 夫	・北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 ・米国・東欧・北欧における木造建築の保存・再生・活用 ・日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 ・世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊 彦	・ドイツと日本における無子の増加に関する研究 ・超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン ・日本の長期出生動向に関する分析
望 月 澄 人	・CGアニメーションの制作
矢 部 和 夫	・湿原景観の保全と再生に関する研究
吉 田 和 夫	・組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について
エル サニ マロアン	・Current global development of online based media archives especially focusing on the activities of educational institutions
武 田 亘 明	・ICTを活用したメディア教育の研究 1) 情報を読み解く力の育成教育に関する研究 2) 手書き入力・自動採点システムによる放課後自学自習用電子教材の開発
張 浦 華	・製品形態における感性評価プロセスに関する研究
フィッシャー ニーナ	・Current global development of online based media archives especially focusing on the activities of educational institutions ・Research about the necessity of an International Contemporary Art Biennial for the cultural and structural development of the region (continuous research from 2009)
細 谷 多 聞	・環境情報の電子化とその活用に関する研究
町 田 佳 世子	・笑顔の相互作用効果の基礎的研究 ・コミュニケーション能力評価方法の開発 ・英語教育の教育内容構成に関わる言語学的研究成果の検討
大 瀧 一 博	・デザイン学習者向け教材の開発と教育効果測定に関する研究

教員名	研究課題
柿山 浩一郎	・製品・サービス発想における、リアルタイム集団アイデア発想システムの検証
小宮 加容子	・障害児用ジョイスティック操作訓練システムの開発
斉藤 雅也	・建築環境教育・住まい方支援のための教材・学習プログラムの開発
那須 聖	・現代建築・都市における外部空間の中の内部性
福田 大年	・コンテンツデザインにおける情報デザインの有効性についての研究
松井 美穂	・アメリカ南部女性文学におけるジェンダーとセクシュアリティ
三谷 篤史	・ボイスコイルアクチュエータを用いた振動機構の開発 ・北海道の地域性を生かした動物ロボット玩具の開発
山田 良	・地域再生を目的とした景観再評価に関する研究（札幌地区におけるアート展開催、公共空間制作を通じて）
片山 めぐみ	・積雪寒冷地域における在宅高齢者の外出行動と施設配置に関する研究 ・動物園における動物とヒトとのコミュニケーションを考慮した展示デザインに関する研究
上田 裕文	・風景イメージ調査手法の確立
須之内 元洋	・ユーザー主導型の札幌イベントサイト「SAPPORO COLOR」のメディア展開について
棟方 渚	・人間と持続的なインタラクションを実現する人工物の開発

#### 看護学部

教員名	研究課題
中村 恵子	・成人看護学領域における看護技術獲得とその検証
内田 雅子	・慢性疾患をもつ成人のセルフ・モニタリングと自己理解を促進する援助方法の開発
加藤 登紀子	・女性管理職の昇格における影響要因と昇格後の活動の変化
河野 總子	・看護職の組織コミットメントと職務満足調査－看護管理者が副院長である施設と看護部長の施設の比較検討－ ・ナースステーションにおける看護作業環境の改善に向けた基礎的研究
坂倉 恵美子	・地域高齢者のソーシャルサポート・ネットワークと医療費の関連 ・積雪寒冷地高齢者の主観的幸福感の関連要因 ・安全な入浴方法開発のための基礎的研究
定廣 和香子	・看護実践場面における看護師の行動に関する研究－安全管理行動に焦点を当てて－
スーディ神崎 和代	・在宅ケアに関する国際比較調査 ・日本の地方在住高齢者の転倒と関連要因（沖家室島）
樋之津 淳子	・OSCEによる1～3年次の基礎看護技術の到達度評価について
松浦 和代	・小児・母性看護学領域で活用する感性教材モデルの開発と有用性の検討
宮崎 みち子	・胎児の生きる権利に関する研究 ・看護実践における倫理的ジレンマに関する研究
山本 勝則	・看護における他者理解
大野 夏代	・指圧・マッサージ、手洗いなど看護技術に関する研究 ・国内における国際協力活動の実践と課題の整理 ・病床環境の整備に関する研究
清水 光子	・保健師の継続訪問によるマネジメント
須田 恭子	・札幌在住の身体障害者支援：災害対策支援に着目したマップ開発
守村 洋	・メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害者への地域生活支援および自殺予防に関する研究）
吉川 由希子	・e-learning を用いた小児看護学領域の自己学修教材の有効性の検討

I 概要

II 教育活動

III 研究活動

IV 社会活動

V キャリア支援活動

VI 入学選抜結果

VII 附属図書館

VIII 役員会、経営審議会及び教育研究審議会

IX 学内運営の概要

X 資料

教員名	研究課題
菊地 ひろみ	・在宅・病院間の看護情報共有様式の実用化
佐藤 公美子	・占領期における看護改革に関する研究 ・OSCEトライアルにおける1年次課題の妥当性の検証
菅原 美樹	・救急・クリティカルケア領域に従事する看護師の職業的体験の意味に関する研究
杉田 久子	・クリティカルケア看護師のexpertiseの探究 看護師のexpertiseの概念分析
新納 美美	・人の成熟を促すコミュニティの形成に関する研究－暴力問題に関連したヘルスケアの現状と課題に関する検討－
藤井 瑞恵	・循環器疾患などの生活習慣病に関する疫学的研究
星 美和子	・Self-Transcendence、Vulnerability及びWell-beingに関する研究及び看護知識の構造における中範囲理論についての研究
村松 真澄	・口腔アセスメントと口腔ケアプロトコールに関する研究 ・地域自立高齢者の口腔の健康と主観的幸福感に関する研究
保田 玲子	・地方都市高校生の性に対する知識、態度および行動
渡邊 由加利	・産褥期におけるリラクゼーションの方法の検討 ・母性看護学領域におけるOSCE課題とその評価
太田 晴美	・アクションリサーチ（SSM）による看護師教育支援：災害看護への動機づけ
神島 滋子	・脳損傷の認知機能障害スクリーニングツールの開発に向けた研究
河村 奈美子	・発達段階各期における精神保健と看護
櫻井 蘭子	・支援専門職に関する研究
進藤 ゆかり	・痛みを抱えた高齢者や積雪寒冷地域に居住する高齢者の健康生活に関する研究 ・老年看護教育に関する研究
多賀 昌江	・周産期医療のグリーフケアを支援するデザイン研究：死産児を安置するための棺「エンゼルセット」の開発
照井 レナ	・認知症高齢者に対する米国発新型アクティビティ・ツールの日本文化を踏襲した応用－異文化アセスメントに基づく構築－
松村 寛子	・保健師の育児支援に関する研究
三上 智子	・ロイシンリッチリピート蛋白質の進化速度の研究
工藤 京子	・呼吸器疾患患者会における日常生活の工夫と医療講演の効果
小坂 美智代	・外来治療を受けるがん患者の対処の「柔軟性」に関する研究
鶴木 恭子	・重曹による清拭が皮膚表面に与える影響
原井 美佳	・高齢者の心地よい排泄ケアの検討
測本 雅昭	・急性期における意識障害患者の意識回復に向けた実証的研究～複数の感覚刺激を用いた口腔ケア～